

6月議会 一般質問（加藤鉦一議員）

熊本地震に学び活断層対策を図れ

市民部長「なるべく近い避難所を活用して頂きたい」

6月17日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の加藤鉦一議員は
①藤島地域の活断層対策②指定管理と人件費問題について、取り上げました。

藤島川西側の避難所は少ない

加藤鉦一議員は「熊本地震は住宅被害が甚大で、庄内平野東縁断層帯を抱える本市にとって、防災対策の見直しが必要な課題として浮上している」と市当局の認識を質しました。

市民部長は、「本市の藤島添川地区にかかつている活断層は、周辺は農地などで建造物は立地していない。松山断層が存在していることから、地震の発生する確率にかかわらず日頃から防災意識を持つことが重要である」と答え、従来からの認識に変わりがないとの答弁です。

建物耐震化の促進

加藤議員は続いて、活断層周辺部の建物の耐震化の促進について質しました。
市民部長は「建物の防災対策では、耐震診



市民部長は、「築後60年以上経過し耐震補強工事は極めて困難だ。多目的ホールを設置しているので、体育館としての改築は極めて難しい」と述べ、「市街地とそれ以外のところでは公共施設の設置がアンバランスであり、藤島川の西側の公共施設の収容人数は少ないのはそのとおりだが、改築は考えていない。実際に地震が発生した場合になるべく近い避難所を活用して頂きたい」との答弁で見直しはありません。

加藤議員は、「熊本地震が起きて全国で活断層対策が見直しされる。議会で避難場所が足りない、耐震性のない避難場所だと指摘されても、対策を怠っていたら、本当に地震が起きたときにどう責任をとるのか」と求めました。

渡前地区の体育館の耐震化が必要

加藤議員は3点目に、「藤島川の西側の2次避難所は少なく、渡前地区活動センターの体育館の耐震化に向けた改築が必要ではないか」と求めました。

私の昭和 31

鈴木重雄（88歳・八色木）

戦没画家の遺作展



平成21年7月、鶴岡生協こひあで、長野県にある「無言館」所蔵の戦没画家の巡回展が開かれた。

画家を志した学生が戦争に徴兵され、戦陣に散った遺作である。平日にもかかわらず大勢の見学であったが、

誰ひとり黙して語らず、自画像の前で手を合わせる人もおられた。遺書で「私が死んだら、この絵を飾るように」と残して逝った。親や兄妹、そして思いを寄せた人に心を残し、どんな気持ちで戦地に赴いたであろうと思うと心が痛む。酒田市出身者も遺書を添えて戦陣に散った。目頭が熱くなる遺作展であった。

総務部長は「公共施設等総合管理計画をいま策定しており、全ての施設を洗い出し、施設の転用、廃止など明らかにしていきたい」と述べ、鶴岡市は熊本地震に学ぶ教訓が軽視されていないのではないかと疑問が残りました。

指定管理委託料は人件費保証せよ

加藤議員は、指定管理制度の問題を取り上げ、「人件費を低く抑え、官製ワーキングプアが作り出されている」と問題視しました。そして「労働法令の遵守、雇用・労働条件への配慮規定が協定等に提示されているか」と指摘し、職員の人件費を保証する委託料の見直しを求めました。

他は指定期間における収支計画書の提出や毎年度の事業内容や事業費を所管課と協議し、適正な職員配置、研修機会等を考慮して委託料の算定が行われている」と答えました。

労働条件の配慮規定

総務部長は、「委託料は、保育施設など国の基準をベースにしたものや、コミュニケーション施設は協議により一定の要員費等を定め、規模に応じて別途補助金を加え全市統一の基準で算定している。

労働法令の遵守や雇用・労働条件の配慮規定については、「協定に記載していないものは全体の46・7%。うち社会福祉法人や財団法人は就業規則で定められており、これらを除けば16・3%。これらは更新時に記載していただきたい」と答えました。

「戦争法廃止を求める統一署名」藤島で21110筆（6月20日）

ご協力に心から感謝します。署名は5月19日に国会に提出。さらに6月末まで継続。

昭和も遠く

12

研堂・穆堂・竹雨

(その1)



(写真) 黒崎研堂…致道ブログより

3人共、庄内が生んだ日本での一流の書家であると言ってよい。

黒崎研堂(1853

〜1928年)は庄内藩家老・酒井了明の3男、母は藤島・大川渡の成澤孝家の娘いつ。先日、成澤孝君と会った。

「民報藤島、毎号見ているよ。」

3月13日号の成澤功さんの研堂についての記事も見ました。

実は研堂について、旧市に住む2人の方が

中町 成澤功

ら電話がありました。

酒井忠久さん(庄内

藩主酒井家18代当主)

と水野貞吉さん(南州

会理事長)です。

無論、この2人は研

堂と大川渡の関係は周

知だった筈ですが、こ

れまで公然と語られる

ことはなかった。

それが珍しかったの

ではないか。

自分も面目を保つこ

とが出来た」と語って



(写真) 松平穆堂…庄内日報より

私も昭和10年代、小

学生の頃毎年1回開催

される市内小学校の合

同書道会で、教師の穆

堂先生から直接手ほど

きを受けた。(つづく)

くれました。

松平穆堂(1884

〜1962年)は、研

堂の直弟子である。

「数字はウソをつかないが、ウソつきは数字をつかう」

—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

「雇用が110万人増えた」「給料も上がっている」などと経済指標を上げ、アベノミクス効果を自賛し、「ウソつきが数字をつかう」って票をかすめ取ろうとしている。

実態は、「雇用110万人増」は、非正規雇用167万人増、正規36万人減の差引で、臨時、派遣、パート、アルバイト等の増(雇用者)の37%である。最近年金暮らしの祖父母が

ご都合主義の「アベノミクス」

テーマ	安倍首相の「自慢」	内実
国民総所得	36兆円増加	物価上昇で12.2兆円 円安効果6.5兆円
就業者数	110万人増加	非正規雇用167万人増 正規雇用36万人減
有効求人倍率	24年ぶり高水準	就職者9000人減
給与	3年連続賃上げ	実質賃金5年連続減 年収400万円の労働者で年20万円減
税収	21兆円増	消費税増収分が9兆円 所得税、法人税などはリーマン・ショック前より5兆円減
企業倒産	25年ぶり低水準	中小企業数は2年で4.4万減少 休廃業・解散は2万6699件(リーマン・ショック直後以上)
旅行者	訪日外国人旅行者は過去最高	日本人国内旅行者は延べ3277万人減少

ところが実態は

しんぶん赤旗6月11日付

子どもや孫世代の面倒をみるが増えているという。子や孫が非正規で低収入だからだ。「3年連続賃上げ」と言うが、厚労省統計では実質賃金5年連続減である。年収200万円未満の「ワーキングプア(働く貧困層)」は毎年増え1130万人超と国民は困窮を強いられている。

「国民総所得は36兆円増」と言うが、その多くは大企業・富裕層(大株主)の懐に入った。大企業内部留保計は3

01兆円へ、富裕層上位10人の資産増加額は5兆3035億円、ソフトバンク孫会長は1兆2619億円増でトップ。「企業が活動しやすい国にする」公約は確実に実行され効果をあげている。もう一度国民の困窮を示す数字を見る。可処分所得(収入から直接税と社会保障料を除く)で、15年の42万6610円から、15年は40万8649円へと1万7961円も減った。踏んだり蹴ったりである。

られない物は、自分の家で食うアサメシ位になるぜ。あの弁護士に言わせれば何でも良いとは言われないがダメとはならないんだから。▲こんなことをいつまでグダグダとやってんじゃねーよ。早いところ押した自公で引導を渡せ・と書いていたんだが、泣いたり解散で脅したりが効かなくなつて辞任に追い込まれた。▲いつまでも辞めると言わないもんだからイライラしていたという安倍首相は、テメーのデータラメを棚に上げ、



出鱈目のキワミ

舂添と言う東京の知事のこと、出鱈目のキワミです。都議会でも言われていましたが、世界中に恥ずかしいことです。

▲2年前に書いたことですがこの人、自民党がダメだからと出て行って新しい党を造った人なんです。だから2度と来るんじゃネーゾと自民党は除名にしたんだよ。みなさん・思い出したでしょう。

▲ところがだ。猪瀬という知事が悪い所から5千万円を借りたとか貰ったとかで辞任をしたんです。これも推薦は自公だったでしょう。この時、代わりに自公が押したのが舂添だったのだ。出鱈目な党が出鱈目なヤツを推したことになるんだ。

▲その結果がこれなんだ。先の記者会見を見ると、政治資金に入れ

「野党統一候補」を野合と言つて回っている。野合とは何のことか判っているのかネー。野党の統一がよっぽど恐ろしいんだろがヨ。▲これに共産党の小池書記局長の応えは明快です。「国民の大きな声が野党は統一して戦え」と言っているんだと。「民主政治を取り戻す」と政策協定を結んでいくんだとネ。(石川)